

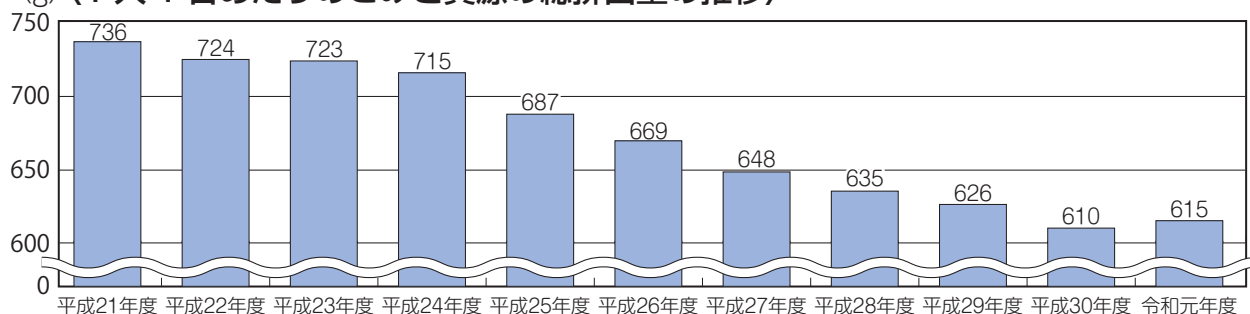
9. ごみと資源物

平成 23 年 1 月に策定した「ヨコハマ^{スリム}3R 夢プラン」は、平成 22 年度から令和 7 年度までの 16 年間の長期計画であり、ごみと資源（古紙、プラスチック、缶など）の総量の削減を目標としています。

令和元年度の磯子区のごみと資源の総量は 37,480t で、第 3 期推進計画目標（平成 30 年度から 4 年間の目標）の基準年度である平成 29 年度比で▲ 1.6% でした。

また、令和元年度の磯子区の 1 人 1 日あたりのごみと資源の総排出量は 615g でした。昨年度と比較し増加となった要因は、大型台風による災害ごみや、新型コロナウイルス対策による在宅日数が増えたこと等が考えられます。

(g) <1 人 1 日あたりのごみと資源の総排出量の推移>



磯子区では、区民、事業者、行政が一体となって環境行動を促進するため、様々な普及・啓発活動を促進しています。令和 2 年度目標は、1 人 1 日あたりの家庭系ごみの排出総量を基準年度よりも 17g 削減した 609g となっています。

<横浜市の目標>「ヨコハマ^{スリム}3R 夢プラン」(削減率はすべて平成 21 年度比)

- ・ごみと資源の総量を令和 7 年度までに 10% 以上削減
第 3 期推進計画目標において令和 3 年度までに 8% 以上削減
- ・ごみ処理に伴う温室効果ガスを令和 7 年度までに 50% 以上削減
第 3 期推進計画目標において令和 3 年度までに 25% 以上削減

コラム 8

減らそう！ プラスチックごみ

どんな問題があるの？

- ・世界全体で年間数百万トンものプラスチックが陸上から海洋へ流出しています。このままでは、2050 年までに魚の重量を上回るプラスチックごみが海洋を占めると予測されています。
- ・リサイクルされない石油資源のプラスチックを燃やすと、多くの温室効果ガスが排出されるため、地球温暖化の要因の一つとなっています。

問題解決に向けて私たちができること

ポイ捨てをしないことに加え、ごみの元となるプラスチック、特に「使い捨てプラスチック」の利用を減らしていくことです。



マイバッグを使用しましょう

買い物の際はレジ袋をもらわず、**マイバッグ**を使いましょう。
※令和 2 年 7 月 1 日より、レジ袋の有料化がスタートしています。



マイボトルを使用しましょう

ペットボトルなどのごみを減らすために、出掛ける際には**マイボトル**を持参しましょう。



使い捨て食器は断りましょう

マイ箸などを使用し、使い捨てのフォークやスプーン、ストローをもらわないようにしましょう。

減らそう！食品ロス

もったいない！まだ食べられるのに廃棄されている「食品ロス」の現状

食品ロスとは、食べ残しや手つかず食品、むき過ぎた野菜の皮など、本来食べられるのに、廃棄されている食べ物のことを指します。

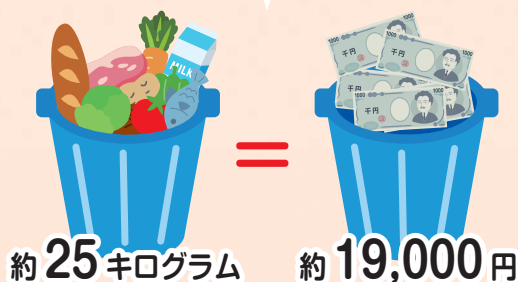
横浜市の家庭から出される燃やすごみの中には、年間約9万4千トンもの食品ロスが含まれており、これは一人当たり年間約25キロになる量です。

一人当たり年間約19,000円分が捨てられている計算になります。



燃やすごみの中から見つかった「手つかず食品」の例

これを金額に換算すると



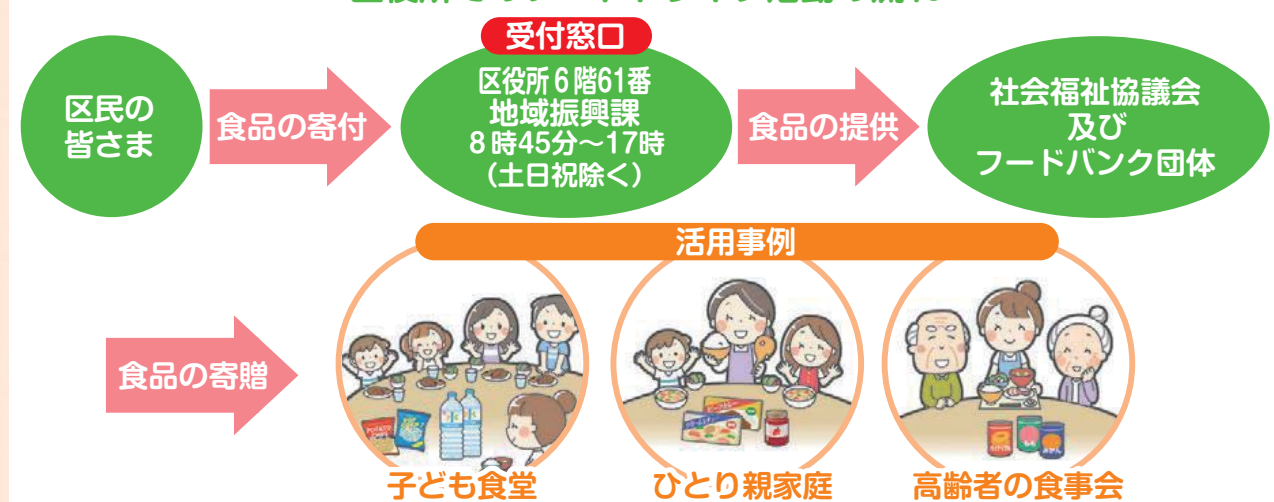
▶食品ロスをなくすことで、家計の節約にもつながります。一人ひとりができる『暮らしの中のもったいない』を見直しましょう。

フードドライブ活動 ～令和2年8月より、区役所に常設窓口を開設しました～

フードドライブ活動とは、各家庭で使い切れない未使用食品を持ち寄り、それらをまとめて地域の福祉施設や団体などに寄贈する活動です。まだ食べられるのに廃棄される食品を活用することで、食品ロスの削減にもつながります。

なお、区役所が集めた食品は、社会福祉協議会及びフードバンク団体を通じて、地域の福祉施設や食を必要としている方に寄贈しています。

区役所でのフードドライブ活動の流れ



ご提供いただける食品例

- ・お米、お茶漬け、海苔、ふりかけ
- ・パスタ、素麺などの乾麺
- ・調味料（しょうゆ、食用油など）
- ・缶詰、レトルト・インスタント食品
- ・粉ミルク、離乳食、お菓子 など



確認していただきたいこと『3か条』

- ①未開封のもの（外装が破損していないもの）
- ②賞味期限（要明記）が2か月以上あるもの
- ③常温保存できるもの